

経営者として思うこと

使用者委員 伊地知 司

私は経営者として常に想うこと、それは社員一人一人が健康であることです。

会社は社員という人々によって担われております。社員が健康であって初めて会社も一歩進むことができるのです。

又、今年の元旦に実業団駅伝、そして2日、3日に箱根駅伝をテレビで観戦しましたが、最終のランナーがゴールに入った時そのコースに向かい一礼するシーンがありました。このことは自分の力量、そしてチームの技量を含め一生懸命に力を発揮させてくれた対象に心から感謝したい気持ちが、頭を下げさせているのでしょう。

私たちも職場で働ける喜び、そして感謝するほどの努力をして頂くことが大事だと思います。

昨年ウオルトデイズニージャパンの社長ポールキャドランド氏の講演を聞く機会に恵まれました。中でも社長の経営哲学的な話の中で、

- ① ハートのこもった特別なエンターテインメントを届ける
- ② 好奇心はいつだって新しい道を教えてくれる
- ③ 私は偶然を否定する
- ④ 人の採用は頭の良し悪しではなく情熱のある人を採用
- ⑤ 毎日が感動、毎日感謝

このことは、会社を経営する基本を学んだような気がいたしました。お客様のニーズは何なのか？常に物事を考え努力する事、さらには、情熱を傾けなさい、そして感動し感謝せよ。

感動とは物事に深く感じて心を動かす事です、まずは他人が素晴らしいという対象をみて感動するような行動が、大事ではないでしょうか。